

一般質問 Q & A



創世会
榛村 航一

森林環境譲与税で木育・木育キャラバンの取り組みを

Q 森林環境譲与税を利用し「森づくり課」を設置し人材育成を図ると同時に、「教育・子育て・環境」を貫く大黒柱「木育・木育キャラバン」に積極的に取り組むべきと考えるが、市長の所見を伺う。



木育キャラバン
(東京おもちゃ美術館提供)

森林行政の体制強化を図る

A 森林・林業行政における専門知識や経験が豊富な県職員OBなどを活用し、新たな森林管理システムの推進や現場の人材育成、森林行政の体制強化を図っていきます。

木育は、森づくりに貢献する市民の育成を目指す活動であり、大変重要だと認識しています。掛川らしい木育を検

討していきます。

待機児童対策として掛川流子育て「スキンシップのすくめ」を

Q 愛着形成に大変重要である0～2歳の時期のスキンシップを本気で推進、愛に恵まれた心豊かな子育てをし、保育所を利用せず、家庭で子育てすることを選ぶ世帯を補助する、という考え方もあると思うが所見を伺う。

国として対策を講じるよう要望する

A 補助については、働きながら子育てする世帯との公平性を確保する必要があり。一自治体としてはなく、国で対策を講じるよう全国市長会でも、国に対して決議書を提出し、要望しています。

【その他の質問事項】

- ・静岡茶草場世界農業遺産センターの整備方針について
- ・掛川城・報徳社・松ヶ岡の一体整備について
- ・認知症・徘徊対策について



共に創る掛川
鈴木 久裕

認知症高齢者の徘徊見守り支援充実には

Q 家族や地域の負担軽減のため、今春から開始した「徘徊高齢者伝言板」だけでなく、GPSを活用した徘徊感知など、多様な手段で幾重もの見守りができるよう、支援策をもっと充実していくべきではないか。

徘徊高齢者対策を研究

A 現行のシステムを導入して、まだ間もないため、評価検証を引き続き行うとともに、GPSを活用した見守りシステムの導入助成も含め徘徊高齢者対策を研究していきます。



大井川広域水道基幹施設の耐震化は

Q 「施設更新基本計画」に基づく管路の耐震化事業が、平成31年度着手から平成39年度着手へと先送りになった。早期の事業着手が望まれるが、見解を伺う。

着実な事業の推進を促す

A 事業実施には、構成団体の財政状況、地域間バランス、水需要の減少等を構成団体と十分協議し合意形成を図るよう提言されているので、構成団体とともに着実な事業の推進を促します。



静岡県大井川広域水道企業団 川口取水口